

空の移動革命に向けた官民協議会 空飛ぶクルマ活用検討の取組みについて



東日本旅客鉄道株式会社
2026年3月27日

1.グループ経営ビジョン「勇翔2034」における空飛ぶクルマの位置づけ

「ライフスタイル・トランスフォーメーション（LX）」を創造し、 「すべての人の心豊かな生活」の実現

私たちが大切にしていること

✔ ヒトを起点に

お客さまや地域の皆さまの声を出発点に、ニーズに寄り添ったサービスをつくります。

✔ 暮らし全体をより便利に、楽しく

鉄道だけでなく、日々の暮らしをもっと快適で楽しいものにすることを目指しています。



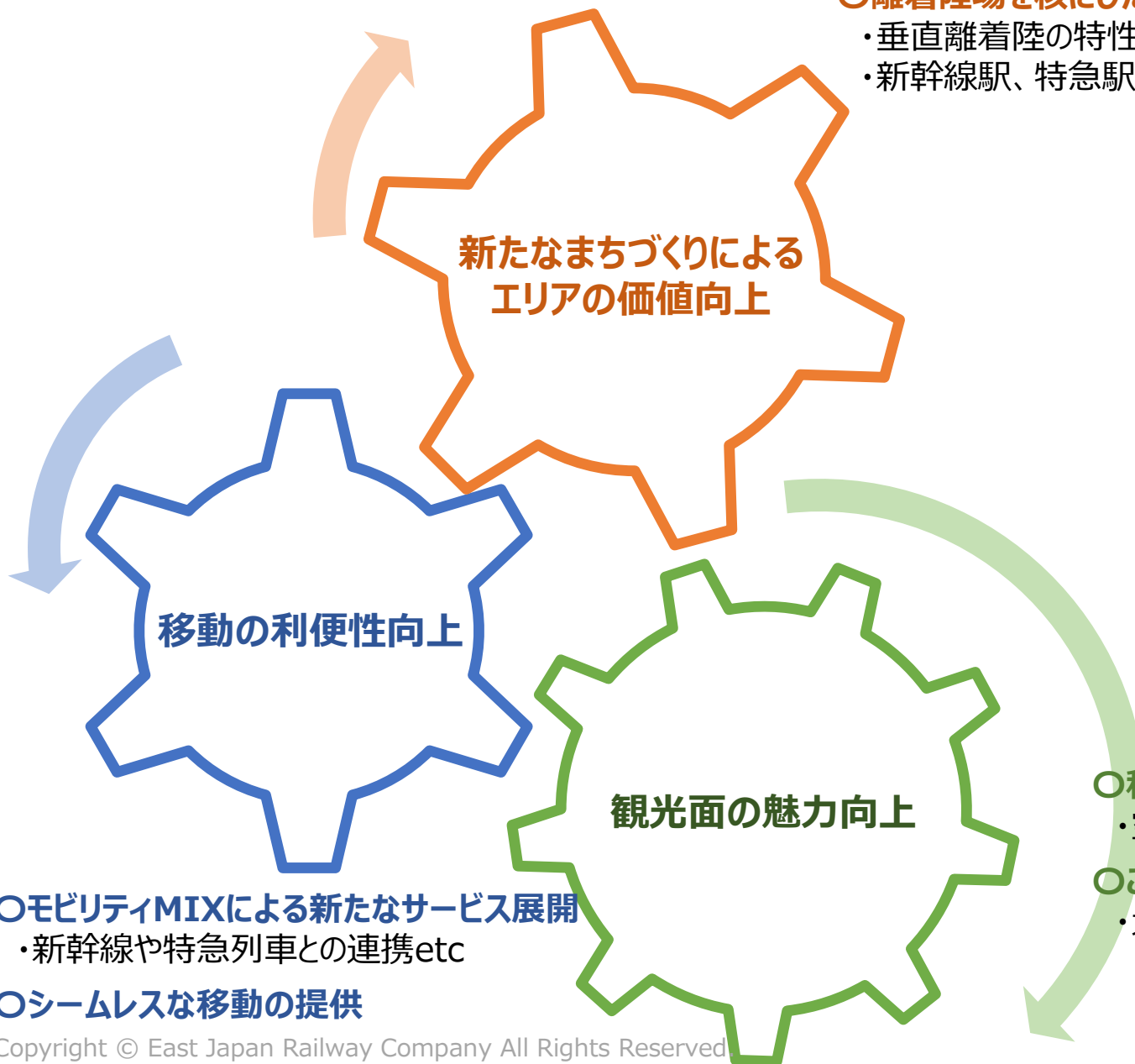
LXとは・・・生活のスタイルを変える新しい体験やサービスの創出

2.当社における「空飛ぶクルマ」の意義・位置づけ ～空飛ぶクルマによって目指す姿

- ・新たな移動・観光需要を創出し、交流人口・関係人口を拡大する
- ・空飛ぶクルマを組み合わせた新たなまちづくり、ビジネス展開(モビリティ×生活ソリューション)を目指す

○離着陸場を核にしたまちづくりの展開

- ・垂直離着陸の特性を生かし、駅ビル屋上等を活用
- ・新幹線駅、特急駅の遊休地を活用



駅を起点とした空飛ぶクルマの活用イメージ
(WaaS共創コンソーシアム作成)

○移動の高付加価値提供

- ・空の移動という非日常体験(上空からの絶景)

○これまで1日ではなし得なかった観光体験の提供

- ・大幅な時間短縮により、見直される観光地の価値

○モビリティMIXによる新たなサービス展開

- ・新幹線や特急列車との連携etc

○シームレスな移動の提供

3.空飛ぶクルマ活用検討の活動経緯、主なプロジェクト

- ・2018年度に弊社が運営するモビリティ変革コンソーシアム(WaaS共創コンソーシアムの前身)にて勉強会からスタートし、2023～2024年度にヘリを空飛ぶクルマに見立てた実証を実施
- ・2025年度からは東京都公募事業に参加するなど、具体のプロジェクトを推進中



地方モデル

盛岡・長野駅での実証



新幹線との連携による移動・観光需要のニーズ検証等の様子



小岩井プロジェクト

新しいモビリティ体験として下記を検討中

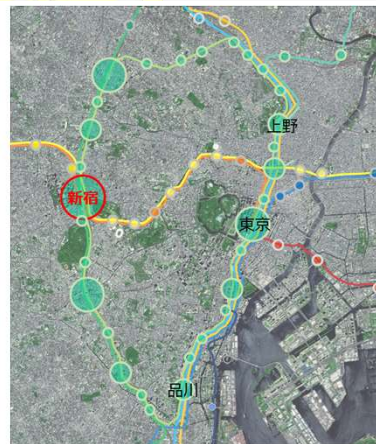
- ・盛岡⇔小岩井農場内の新ホテルの送迎サービス
- ・ホテル周辺の観光ツアー等
- ※SkyDrive社と資本業務提携

都心モデル

新宿駅(ミライナタワー屋上)での実証



駅直結ビル屋上の活用可能性検証等の様子



高輪プロジェクト

高輪GWに離発着場の可能性を検討中

東京都 実装プロジェクト(I 期)

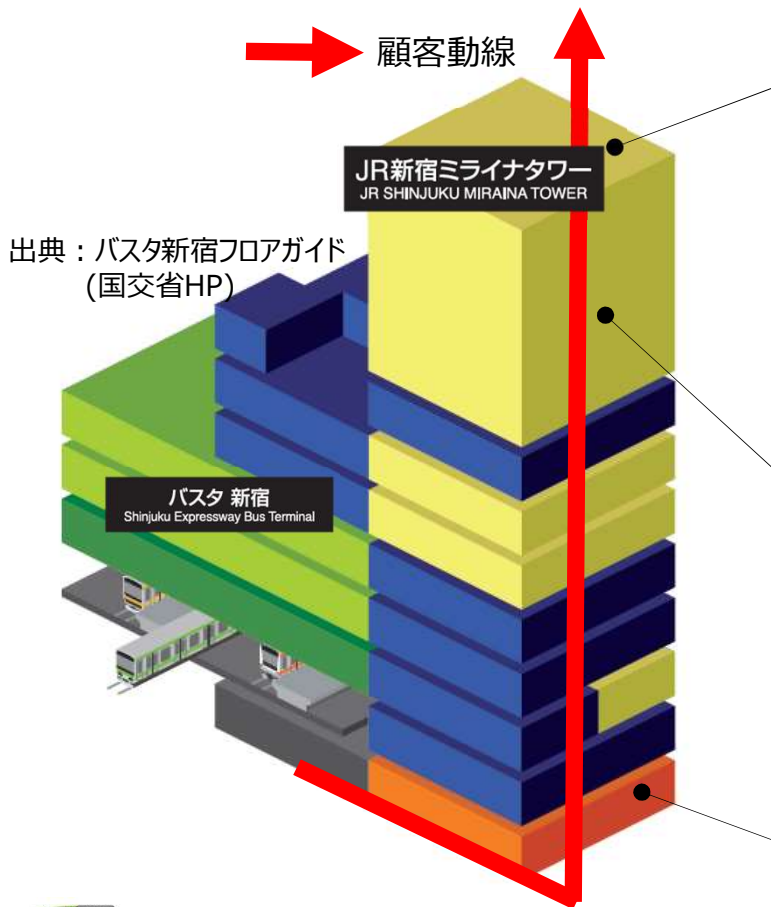
臨海部エリア・河川エリアで、商用運航の実現に向けた取り組みを推進中(2025～2027年の3か年)

※野村不動産を代表とするグループの提案が採択

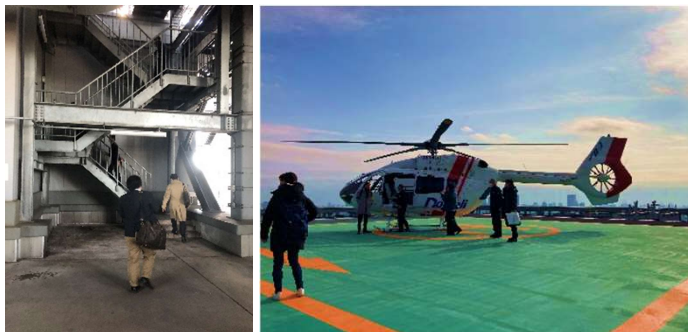
注:乗降人員50万人以上の駅を円の大きさで表示
出典:各社公式ホームページより集計, 2023年度実績

4.事例紹介(都心モデル) / 新宿駅(ミライナタワー)での実証実験概要(新宿 ⇒ 長野駅近傍)

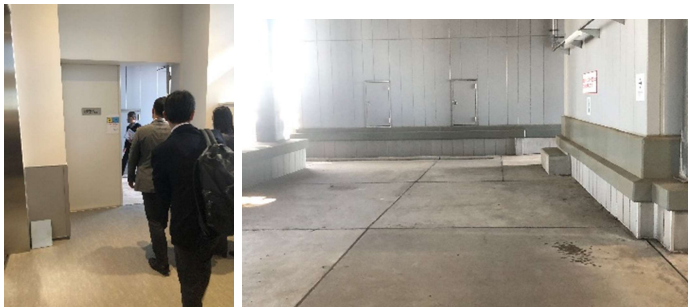
- ・新宿駅直結のミライナタワー既存ヘリポート(緊急離着陸場)の将来活用を視野に入れ、空飛ぶクルマの離着陸場に必要インフラ、付帯サービス、環境調査などを行った(2023年度実施)



屋上のポートにて空飛ぶクルマに乗り込み



屋上にてポート直下の待避所にて待機



地下一階の車寄せから屋上行きエレベータへ乗り込み



<今後、必要となる対応(例)>

- ・ポートへの移動のバリアフリー化
- ・ポートでのWi-Fiなどの通信手段確保

- ・待避所に出るまでに手荷物検査などの実施
- ・離発着遅延時など、待合スペースの確保

- ・屋上階に行くためのチェックインゲートなど、お客様入場手続きの方法の確立



出典：google earth

5.事例紹介(地方モデル) / 宿泊施設を起点とした価値創造事業の取り組みについて

・地域固有の風土・文化を活かした高付加価値な旅や観光を体験できる「一人ひとりの移動の目的(地)づくり」として、新たに宿泊施設を基点とした価値創造事業を展開します

● **個客の移動の目的(地)づくり** ～泊まること自体が目的となる宿泊・滞在型拠点の整備～

(例)地域ならではのランドスケープに受け込み、歴史・文化・産業・暮らし等のその地域固有の上質さの体現

● **地域と一体となった観光振興** ～「定番観光」から「個性や意義のある体験」提供への変革～

(例)「空飛ぶクルマ」での未知の体験提供による移動時間の滞在時間化

● **地域の拠点化・地域産業との伴走** ～一方向的ではない双方向・多方向的な交流の場づくり～

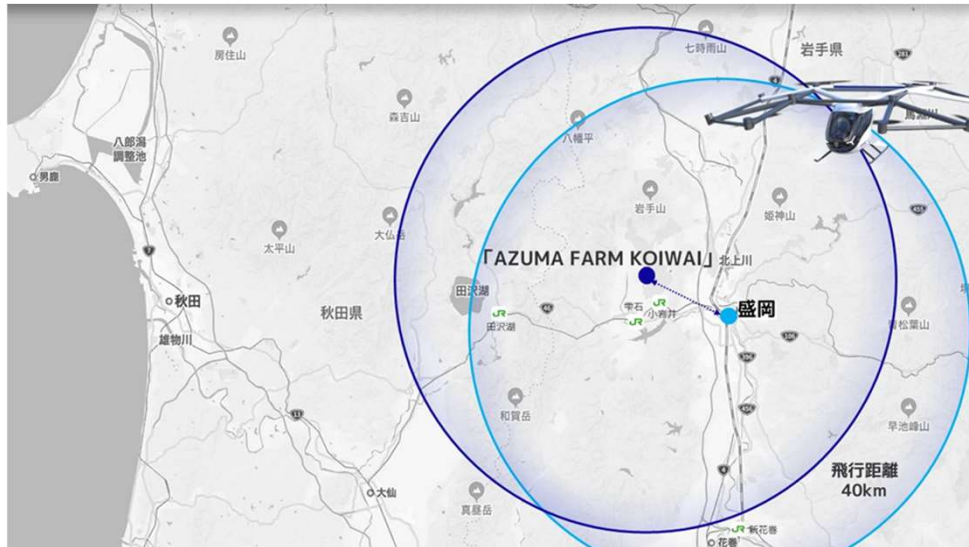
(例)宿を起点とした半日から複数日までのニーズに応じたオリジナルのマイクロツーリズムの提案による滞在長期化の促進

- ・ホテル名 : 「AZUMA FARM KOIWAI」
- ・所在地 : 岩手県岩手郡雫石町丸谷地68-77ほか
- ・施設概要 : 客室 (24室) ・レストラン・ラウンジ棟、プライベートサウナ3棟
敷地面積 約8ha、建築面積 約4,000m²
- ・開業日 : 2026年4月23日開業予定



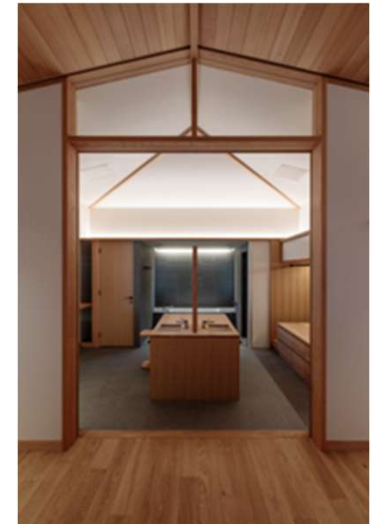
Z17LE第1040号、Z17LE第1041号 (C)Mapbox (C)OpenStreetMap (C)LY Corporation

SkyDrive社「空飛ぶクルマ(SKYDRIVE SD-05型)」の飛行可能範囲(イメージ)※



Z17LE第1040号、Z17LE第1041号 (C)Mapbox (C)OpenStreetMap (C)LY Corporation

※「空飛ぶクルマ (SKYDRIVE SD-05型)」は機体アップデートに伴い、航続距離を伸ばしていきます。
[最大巡航速度：100km/h、乗車定員：3名乗り(操縦士1名、乗客2名)]

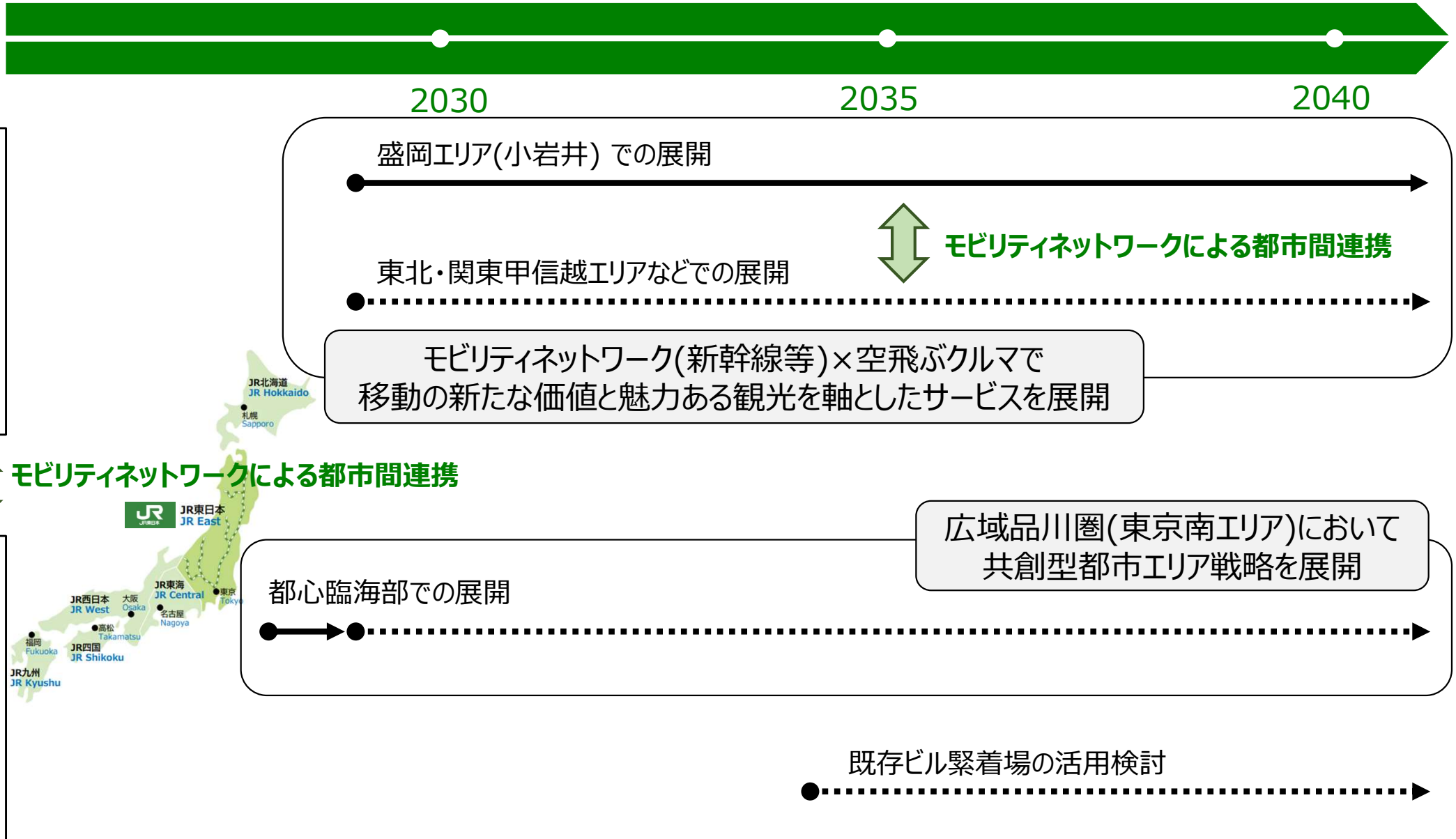


客室一部内観イメージ

6.事業計画

首都圏と地方のモビリティネットワークを付加価値を高めて構築します。

- ・地方モデルとして…移動の新たな価値と魅力ある観光を軸としたサービス展開を盛岡エリア(小岩井)から開始
- ・都心モデルとして…臨海部周遊など広域品川圏(東京南エリア)のエリア戦略から展開



7.弊社の提供価値

- ・弊社は駅や駅ビルを拠点にしたVP配置と東日本全域に及ぶモビリティネットワークを軸に事業展開を図ります。
- ・地方モデルと都心モデルの実装と広域的なネットワークの強化を目指し、官民協議会での課題解決に貢献します。

お客様接点の多さ



豊富なアセット

鉄道営業キロ (BRT含む)	7,418.7 km	ショッピングセンター	153 箇所
オフィス貸付可能面積	71 万㎡	駅 (BRT含む)	1,682 駅 (いずれも2024年度末時点)

主な検討領域



事業領域の広さ

事業・ビジネス			
モビリティ	生活ソリューション		
運輸事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 新幹線ビジネス ● 在来線ビジネス ● バスビジネス ● 車両製造ビジネス 	流通・サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> ● リテールビジネス ● 広告・出版ビジネス ● 海外ビジネス 	不動産・ホテル事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産保有・活用ビジネス ● 不動産回転ビジネス ● マネジメントビジネス 	その他 <ul style="list-style-type: none"> ● Suica・金融ビジネス ● 海外鉄道ビジネス ● エネルギービジネス ● 建設ビジネス

二軸経営
↑4セグメント↓
14ビジネス

出典：主な検討領域の図は、(株)日本政策投資銀行様ご講演資料にマーキング